

# 亡くなった学生の家族からのメッセージ ③

灘区六甲町の杉本文化で亡くなった競基弘さん

(当時・自然科学研究科修士1年、名古屋市立向陽高出身)の母・恵美子さん、妹・朗子さん

朗子さん：兄が23歳で、自分でも思いもよらず突然命を失っているんで、若い人たちには、命のある時間を大切にしてほしいなと思います。

恵美子さん：あの震災で6434人が亡くなったんです。歴史の中の出来事と感じていらっしゃるかもしれませんが、同じ神戸大の学び舎で青春を過ごしていた先輩39人がある日突然命を絶たれてしまったんだよってことは風化させないでほしいなあって思います。



東灘区御影町郡家大倉の自宅で亡くなった白木健介さん  
(当時・経済Ⅱ課程3年、兵庫県立神戸高出身)  
の父・利周さん

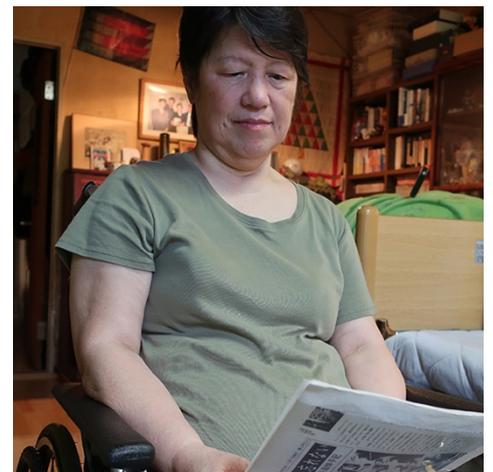
震災があって多くの方が亡くなったことを、記憶に残していただけたらいいと思うんです。その中から自分のできることは何だろうか考える。大学の慰霊碑も、「これなんだろうかな?」という形で知る。伝わっていく…。みなさんで(震災の)話をしていただきたいですね。

東灘区田中町4丁目の下宿で亡くなった工藤純さん

(当時・法修士1年、愛媛県立三島高出身)の母・延子さん

震災の日の正午に、神戸港の船が一斉に汽笛を鳴らしますね。だから大学の慰霊碑にいとその音も聞こえるんです。今は12時半とか、学生が参加できるようになっていますよね。

「人は2度死ぬ」っていいますよね。1回目は生物としての死、2回目は記憶から消え去る時。2度目の死は、絶対迎えさせたくない。



ご遺族のメッセージはブログ ([https://blog.goo.ne.jp/kobe\\_u\\_media](https://blog.goo.ne.jp/kobe_u_media)) にアップしています。(→QRコードからアクセスできます)

